

認知症になっても住み慣れた地域で生活できるように

認知症初期集中支援チーム

がお手伝いします。

「認知症初期集中支援チーム」とは、認知症の方や認知症が疑われる方及びご家族を訪問し、ご本人の様子の確認やご家族への助言などの支援を、初期にいろいろな面から集中的に行い、ご自宅での自立生活のサポートをするチーム（認知症サポート医である専門医・保健師・社会福祉士等からなるチーム）です。



対象となる人は？

ご自宅で生活している40歳以上の方で、認知症の方や認知症が疑われる方で、

- ◎認知症の診断を受けていない、または治療を中断している方。
- ◎適切な医療サービスや介護サービスを受けていない、または中断している方。
- ◎サービスを利用していても症状が悪化して対応に苦労している方。

どんな支援をするの？

チーム員がご自宅を訪問し、ご本人やご家族の生活の様子や困っていることをお伺いして、適切な医療サービスや介護サービスにつなげていきます。（6か月を目安に集中的に支援）



地域から孤立していたり、適切な医療や介護サービス等を受けられていない認知症の方に心当たりはありませんか？

認知症は、
早期発見・早期対応
が大切です。

早く気づいて対応することで、その後の病気の経過を遅らせることができたり、介護の負担軽減につなげることができます。

「認知症かな」「認知症けどどうしたらよい？」と思ったら、まずは身近な相談窓口にご相談してみませんか？



相談窓口

下松市役所 高齢福祉課地域包括支援係
(地域包括支援センター) ☎(0833)45-1838